

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----------|
| 理念に基づく運営 | 11 |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を実践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 2 |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 6 |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 11 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|-------|------------------------------|
| 事業所番号 | 2170102913 |
| 法人名 | 有限会社マイハウス |
| 事業所名 | グループホーム マイハウスながもり |
| 訪問調査日 | 平成20年9月26日 |
| 評価確定日 | 平成20年11月10日 |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター |

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|---|-------|-------------|
| 事業所番号 | 2170102913 | | |
| 法人名 | 有限会社マイハウス | | |
| 事業所名 | グループホーム マイハウスながもり | | |
| 所在地 (電話番号) | 岐阜県岐阜市切通6丁目15 - 13 (電話) 058-248-3482 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター | | |
| 所在地 | 岐阜県関市市平賀大知洞566-1 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年9月26日 | 評価確定日 | 平成20年11月10日 |

【情報提供票より】(平成20年8月30日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|----------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成16年2月20日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 8 人 |
| 職員数 | 7 人 | 常勤 5 人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.0 人 | |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 木造 造り | | |
| | 2 階建ての | 1 階 ~ | 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|--------------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 15,000 ~ 30,000 円 | その他の経費(月額) | 20,000 円 |
| 敷金 | 有() 円 (無) | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | (有) 300,000 円 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有(無) |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | 1,350 円 | |

(4) 利用者の概要(8月30日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 8 名 | 男性 | 0 名 | 女性 | 8 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 1 名 | | |
| 要介護3 | 1 名 | 要介護4 | 3 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 1 名 | | |
| 年齢 | 平均 77.3 歳 | 最低 | 68 歳 | 最高 | 89 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------------------------------|
| 協力医療機関名 | 小牧内科クリニック、山田病院、まつの歯科、青木歯科、杉山接骨院 |
|---------|---------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは民家を改造して作られており、定員8名の居室は1階と2階に分散され広さも一定ではない。ホームの南側には広い庭があり、建物に沿っての芝生の植えこみには屋外用のテーブルや椅子が置かれている。冬は日向ぼっこ、夏にはバーベキューでも楽しめそうである。その先に見事な日本庭園が作られており、水を抜いた石組は枯山水の趣である。桜やもみじなど、四季を通して楽しめる様々な木々や草花が植えられており、利用者だけでなく訪れる者全てを魅了する。当日も、職員と連れ立って庭を散歩する利用者の姿があった。ホーム全体が開放的であり、職員の異動が少ないことから落ち着いた感じがする。移転は残念だが、さらなる飛躍を期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価では10件の要改善・推奨事項をお願いしたが、その中では地域との取り組みが成果を出している。地域への積極的な働きかけが目につく。職員を育てる取り組みも結果が出ており、前回の介護福祉士試験では、受験者3名全てが資格の取得に成功した。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者をはじめ、職員全員で自己評価に取り組んだ。「ガイドブック」を今回初めて見た職員もあり、自らの業務の振り返りには大いに意義があった。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>ほぼ毎月バス旅行が実施されており、それに併せて運営推進会議を開いている。会議メンバーは選任されているが、旅行と併催のためほとんどのメンバーが参加しておらず、家族的な会議形態である。何回かの会議のうちの1回はホーム内で開催するなどの措置を講じ、本来目的に合致した形での開催が望まれる。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族の意見や要望は、直接ホーム側(代表、リーダー、職員)に届くことが多い。苦情受付用の意見箱が玄関に設置してあるが、これまでに投函された意見はない。家族への情報伝達は家族の訪問時を利用することが多いが、会話だけでなく写真や記録を見てもらうこともある。法人代表自らが編集するカラー刷りの「マイハウス便り」も効果を上げている。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域への積極的な働きかけが目につく。自治会の主催した「しめ縄作り教室」には利用者有志が参加し、その作品はホームのお正月の玄関を飾った。小学校の運動会、ホームの裏の公園での盆踊り等、地域との交流が広がっている。ホームの移転を計画中であり、新たな土地での関係作りが始まるが、ここで得たノウハウを生かして円滑な地域活動が実施されることを望みたい。</p> |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------|----|--|--|-------|---|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | ホームの理念「急がずゆっくり自分のペースで楽しく健康に暮らしましょう」に、「みんなで地域と一緒に生きていこう」の精神が加えられている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 日々のケアや取り組みの一つひとつに、理念に根ざしていこうとの意識がうかがえる。ミーティングにおいても、管理者(法人代表)からホームの目指すべき方向性が説明されている。 | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域への積極的な働きかけが目につく。自治会の主催した「しめ縄作り教室」には利用者有志が参加し、その作品はホームのお正月の玄関を飾った。小学校の運動会、ホームの裏の公園での盆踊り等、地域との交流が広がっている。 | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者をはじめ、職員全員で自己評価に取り組んだ。「ガイドブック」を今回初めて見た職員もあり、自らの業務の振り返りには大いに意義があった。 | | 自己評価の実施時に限らず、日々のケアや勉強会のテキストとしても「ガイドブック」は利用可能である。有効活用によって、職員の意識やサービスの質の向上が図られることを期待したい。 |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ほぼ毎月バス旅行が実施されており、それに併せて運営推進会議を開いている。会議メンバーは選任されているが、旅行と併催のためほとんどのメンバーが参加しておらず、家族会的な会議形態である。 | | 家族の意見や要望を聞き出す上では現行の方法に利はある。しかし、地域や行政の意見が必要な問題も出てくるはずである。何回かの会議のうちの1回はホーム内で開催するなどの措置を講じ、本来目的に合致した形での開催が望まれる。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|-----|-----------------------------------|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市・担当者とは訪問や電話にてコミュニケーションをとっている。法人内の2ヶ所のホームを統合する計画が煮詰まっており、担当者にも詳細を伝えている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族の訪問時に様々な情報を伝えているが、イベント等の非日常的な生活部分の伝達には、カラー刷りの「マイハウス便り」が効果を上げている。この編集作業は、法人代表が自ら買って出ている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の意見や要望は直接、ホーム側(代表、管理者、職員)に届くことが多い。苦情受付用の意見箱が玄関に設置してあるが、これまでに投函された意見はない。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 法人内での人事異動が時折ある程度で、職員の離職はすこぶる少なく、安定した雇用関係が続いている。職員の離職が利用者にならずダメージを与えることが十分に理解されている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 代表が協議会の役員(研修部長)を務めており、教育・研修に取り組む姿勢は前向きである。資格取得に対する職員の意欲は旺盛であり、前回の「介護福祉士」試験には3名の受験者全員が合格した。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 代表は、県グループホーム協議会の役員であることから、同業者との交流の機会は多く情報に不足はない。法人内には4ホーム(6ユニット)があり、定期的な会議を開催して情報交換を行っている。外部研修(実践者研修等)で人脈を広げた職員もいる。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>利用前に、利用希望者と家族にホームを訪問してもらうようにしているが、職員はそれだけで馴染みの関係ができるとは思っていない。「話し」、「聞き」、「リラックス」させて、時間をかけて関係の構築を図っている。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>生活を共にしながら、職員が利用者の思いを把握していくのと同じように、利用者もまた職員の思いをつかんでいる。疲れ切った職員がソファーに腰を下ろすと、そっと近寄ってきた利用者が肩を揉んでくれることがある。わが子をいたわる母親のように。</p> | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>このホームには「レク」を好む利用者がほとんどいない。職業的にも知的なレベルが高かった利用者が多いのか、「レク」は幼稚な作業ととらえている。利用者のその意向を尊重し、「レク」の実施は最小限に抑えられている。</p> | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>利用者一人ひとりに居室担当職員が決められており、毎月アセスメントをとっている。また、毎月、家族に対して意見提出のお願い状を出し、家族の意見を介護計画に反映させようとしている。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>定期的な介護計画の見直しは、原則として3ヶ月毎に行われている。入院していた利用者が退院してきたが、状態(歩行)が大きく退行してしまっていたので、介護計画を変更した例があった。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|----|--|--|-----|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人や家族の希望があれば、可能な範囲で同行・付き添いのサービスをしており、お墓参りや通院時の付き添いは珍しいことではない。特に、近親者のいない利用者の入院時には、家族同様の対応をしている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者のほとんどがホームの提携医をかかりつけ医としており、月2回の定期往診を受けている。毎週、訪問歯科の往診を受けている利用者があり、歯科治療だけでなく、発声指導や口腔ケアも受けている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 代表は、グループホームの役割を「共同生活の場」の提供と考えており、ホームでの医療行為には否定的な考えである。「看取り」をしないことに関しても、利用開始時に家族に十分な説明を行っている。 | | 「看取りの実施」はないにしろ、病状の急変や予測し得なかった事故等によって応急処置が必要となることはある。ホーム内勉強会等により、緊急時に対応する職員の知識と技術の修得を図っていただきたい。 |
| 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員は利用者のプライドを損ねないようにと、排泄の誘導にも声かけをしないで済む配慮をしている。利用者の何気ない仕草や落ち着いたなさを読み取り、さりげなくトイレへと連れて行っていた。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ほとんどの利用者が食事時間以外を居間で過ごしている。思い思いに廊下を行き来し、食堂に入ったり、職員と一緒に庭に出たりと活発な動きが目についた。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|-----|--|
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 調理を手伝える利用者は少ないが、可能な範囲で手伝ってもらい、職員も同じ食事を摂っている。利用者に新鮮なものを提供しようとの思いから、食材は直接市場から調達している。家庭菜園で採れた季節の野菜も食卓に並ぶ。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 基本は1週間に3日の入浴であるが、本人が希望すれば毎日の入浴も可能である。それぞれの好みの湯温に調節したり、入浴できない時には足浴や手浴で入浴気分を味わってもらったりしている。 | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 加齢と認知症の進行によって、これまでできたことが困難になりつつある。裁縫が得意だった利用者が針を持たなくなったり、菜園の作業への参加者も減ってきた。しかし、誕生日にはケーキを買ってきてみんなで祝う。当日、感激のあまり涙を流す利用者がいた。 | | 加齢や認知症レベルの低下により、動くことや働くことを拒む利用者が増えてくるのは自明の理。そんな状態であっても、その人の生活の中に「楽しみ事」を見つけてあげる取り組みを継続していただきたい。 |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 秋の好天に恵まれ、調査日当日は絶好の散歩日和。朝早くから職員と連れ立って、庭へ、公園へと出かけていく。広い庭を歩きまわった利用者のスラックスの裾は、「ひっつきボンボン」の葉っぱで飾られていた。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関が職員の死角になることから通常は施錠されている。居室に関しても、施錠していないと不穏になる利用者だけは入り口に鍵をかけている。しかし、居間や居室が掃き出し窓となっていることもあり、閉塞感は感じられない。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 夜間を想定した避難訓練の実施はまだないが、消防署の立ち合いで防災訓練を行ったり、自主的な避難訓練を行ったりしている。夜間の災害に備え、自治会に災害時の救援を依頼している。 | | 夜間想定した避難訓練を実施することで、ホーム(職員)としての力の限界を認識することができる。休日を利用するなどして、地域住民参加の夜間を想定した避難訓練の実施を望みたい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|---|------|--|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 徐々に普通食が食べづらい利用者が出てきている。キザミ食、ミキサー食、とろみ食やお粥等々、状態に合わせた食事が用意されている。定期的な血液検査や体重測定の結果を見て健康管理を行っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 民家を改造したホームのため、屋内の共用空間は特別広く取ってあるわけではない。それを補って余りあるのがホームの南側に広がる日本庭園である。水を抜いた枯山水の石組みや四季を感じることができる木々・草花が利用者だけでなく、訪れる者全ての心を和ませてくれる。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室のドアが施錠されており、普段はよほどのことがない限り他人を中に入れないという女性利用者が、自ら案内して内部を見せてくれた。慣れ親しんだ品々をさほど多くは持ち込んではいなかったが、壁にはイベントの度に撮った写真が何枚も引き延ばして貼ってあった。 | | 拝見した居室は、いずれも生活のための調度や道具が見当たらなかった。新たなホーム完成時には、家族に協力を依頼し、これまでの生活での馴染みの品々を取り寄せるような取り組みを期待したい。 |